

教職の魅力 大学で語る

愛教大、高校生6人が参加

刈谷市井ヶ谷町の愛知教育大で十二日、高校生とその保護者が大学関係者と教

員の魅力について語り合う「第一回地域フォーラム」が開催された。

教育関連の専門クラスがある三つの高校（同大付属、半田東、豊橋南）から、教員を志望する生徒と他の職業を志望する生徒それぞれ三人ずつが参加した。

「高校の実習で小学校に行ったことで、より教師になりたいと考えるようになった」と話した。

フォーラムは教員のやりがいや職業としての重要性をアピールし、教員採用試験の競争倍率が低下している現状に歯止めをかけようと、同大が企画した。

（小野開栄）



参加者＝刈谷市井ヶ谷町の愛知教育大で教職員の魅力について語り合う

専門クラスに在籍しながら教員以外を志望する生徒からは、人の役に立ちたいと考えて教育を学んでいたが「途中で他の職業に魅力を感じた」という意見が出た。教員を志望する豊橋南高二年の鈴木花さん（さ）は